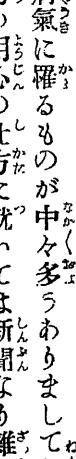
小兒の下痢

醫學士 河野 衛



毎年夏期に向ひますると大人でも小供でも胃腸の病氣に罹るものが中々多うありまして年々歳々食物の用心の仕方に就いては新聞なり雜誌なりで、種々の方面から注意せられますけれ共依然として病に罹る人が多く濱の眞砂は盡きても世に腹下り病者の跡は絶へないのであります。

一體胃腸は吾々の取る食物が消化せられ吸收する場所でありまして、吾々の體を養ふ滋養品は必らず此關門を通過しなければならぬのでありますからして、一刻たりとも之を休ませて置く譯に行かない器關であります、それ故にもしも一朝此場所に病氣が起つた場合には、どうも實に困るです、

第一食物が取れない、取つた所が勿論消化吸收は著しく障害せられて居りますから取つた食物は素通りで體外に出され、且つ其食物を取つたが爲めに病のある部分に刺戟を與へるから病氣は益々進んで來る事になつて來ます、もしも之に全然休養を與へる事が出來るならば何とか工夫もあろうけれ共そうは行かぬ、それから藥を飲むのも大抵は先づ口中から飲む、處が嘔吐が甚しいときは皆んな吐き出して了つて更に藥を受け付けぬといふ有樣になつて來ます、食物でも納まつて行く間はド：かコーか都合は宜しいやうなもの、是れも嘔吐が來るとミンナ吐き出して了ふ、體の營養は其れが爲めに益々衰へて來る、どうも實に手の附けやうの無い狀態に陷るのでありますそれ故に胃腸の病は治療をする上に甚だ困難であります、手とか足とかに故障が起つた場合には靜かにして置いて少しも動かさずに置いて、種々な治療方法を施す事が出來るけれ共、胃腸の方になると食物も藥

もどうしても此所を通過せしむる必用があるから全然用ひずに靜かにするといふ事が極めて困難であります。

それから胃と腸の働きを不斷から健全に保つには先づ日常飲食物に注意して、攝生を重んじなくてはならぬといふ事は誰も能く知り拔いて居る事でありますけれ共ドーモ其實行に至ては誠に困難であります、イクラ理屈を說いても、立派な統計を擧げても、中々人の耳に入り難いものであります耳には入つても、自から信じて實行する人は誠に尠い、凡て攝生の事抔は個人が品性を修養するのと同じであつて、充分に其價値を自認しなければ到底實行せられるものではありませぬ、換言すれば個人の衛生思想が普及しなければいかぬのであります、吾々は御互に協力して社會國家の爲め此衛生思想の發達を計らなければなりませぬ。

それから皆樣の御注意を特に煩はしたい事柄があるそれは此胃腸の病に罹つた時に醫師の言ふ通りを能く守つて頂きたいといふのであります凡て病といふものは單に藥丈を飲むで決して治るといふ性質のものでは無いのでありまして藥の外に全般の攝養といふ事が極めて大切な者であります、そうして此事は殊に胃腸の病の折りに一層大切なのであります、所が世間では何でも食はさなければイカヌといふので種々な食物を妄に與へるといふ風習があつて中々醫師の言ふ事は行はれ難いといふ狀況であります、此れは吾々の實に遺憾に思ふ所であります、要するに病氣は藥力と攝生の能く行はれるといふ事とが相俟ちて始めて治癒の實を擧げる事が出來るものであるといふ事を明確に承知して頂きたいのであります。

それから今一つ御注意を願ひたいのは、腹下りが甚しくて、嘔吐が頻りに起つて居る場合には時としては全く食を與へないで單に食鹽の入つた水ばりを飲ませて置いて其外に色々の治療方法を施す場合がありますコウいふ時に何にも食はせずに

苦しめるといふ苦情が持ち上らぬとも限りませぬ然し是れは實に致方がないのでありまして、食を與へて營養を計りたいのは吾々の胸一杯でありますけれ共場合に依つたら止むを得ず胃腸へ何も送らずに置かなければならないのであります、丁度道路を修繕する時に其處丈けは交通を遮斷して人の通行を禁じて置くのと同じであつて、交通を禁ずれば自然不便を來すから不利益であるのに極つて居るけれ共完全に修理しようといふには少々の不利不便は忍んでもどうしても斷然交通を禁じなければならぬ、もしも勝手に人を通行さしたならば折角治りかけた場所が片端から壞はされて了ふ何時迄待つても修繕せられる筈がない、是れと同じやうに腸に故障の起つて居る時にドシ〳〵飲食物而かも不適當なる食物を與へられて實に堪つたものではありませぬ、それ故に場合に依ては絶食させて療法を施す事もありますが上に申上げたやうな次第でありますから此邊をよく御承知を願いたいのであります。

それで私は茲に夏に多い子供の下痢に就いて衛生上注意すべき要點丈けを申し上げたいのであります、赤痢や虎列拉の如きも同じく下痢に相違無いのでありますけれ共是等は特殊の疾病でありまして、茲には述べませぬ。

そこで小兒の下痢、腹下りと一口に言ふけれ共種種の種類がありまして、病の性狀も亦大變に澤山ありますからして短く申し述べるといふ事は到底出來難いのであります。

哺乳兒の消化障害と生長した小供の胃腸の障害とは其原因なり、症候なり、療法なりが趣を異にして居る。

それから病そのものに至りても、趣を異にして居るものがある、例へば主として食物――乳が腐敗したが爲めに病を起し、胃腸には見るべき特別の變化を來さないものがある、かと思へば一方には立派な病變を胃なり腸なりに起して居るものも隨

分多い、そして病の輕重は無論何れも異なつた事は無く、危險の狀態に陷り易いのであります、是から其下痢の

原因

を申し述べましよう、腹下りの原因は中々多い先づ飲食物の事から申しますと過食です、哺乳兒ならば乳の分量が多さに過ぎ生長した小兒なら食物を多く喰ひ過ぎる是れ原因の主なるものであります食物が多い過ぎると胃は其負擔に堪へないから充分に消化が出來ず又消化液の分泌があつても不充分で久しく停滯して居る間には腐敗醱酵を起し毒が出來て、胃なり腸なりの粘膜が刺戟せられ、消化吸收が能く行はれなくなり、食物は不消化の儘で體外に排泄されて了ひます、之れから小兒の胃は其狀況が大人のと趣を異にして居て、大人なら胃底といふものがあつて、膨れて居りまして食物の溜るに都合善く出來て居りますけれ共小兒の胃には此胃底といふ者が、まだ出來上らずに居りますからして胃は稍垂直に近いやうな位置を取つて居る一つの管狀の袋に過ぎませぬから容易く嘔吐します、斯くの如く胃に溜つた多量の食物は消化不充分の儘で腸の方に送られまして此所でも亦消化吸收が充分に行はれず腸の中で腐敗醱酵を起しまして毒が其粘膜を刺戟します。

それから食物が性質を變じて居る場合、例へば牛乳が腐敗して居るとか食物の腐敗しかゝつて居るもの抔を食つた場合、殊に夏は食物が變敗し易いからして注意しなければなりませぬ、牛乳は隨分不良品が多く、ありましてタトへ不良品でなく共我國の如く牛乳取扱の不完全な所では腐敗し易いのは知れ切つた事柄であります、

それから生水小兒は好んで水を飲みたがる、純良な水なら左程に害も無いが此純良な水を得るといふ事が甚だ困難である、それから氷、氷にも黴菌が居るからイカヌ譯であるが主に之を多量に飲むが、爲めに胃の粘膜が寒冷に依つて刺戟せられて

茲に加多兒を發するやうになります。

その次には身體に寒冷が働いた場合、例へば寒む氣に當るとか、雨に逢ふて濕氣に當るとか、寢冷えをしたとか腹や手足が寒む氣に逢ふた時は往々胃腸の障害を起します、夏風を引くといふのは重に寢冷えであります暑いが爲めに布團からもぐり出て裸體の儘で寐て居る間に身體が冷える或は風の吹き込む所に寢かして置くとか或は襁褓の濕つたのに氣が附かずに居る間にその濕潤の爲めに身體が冷える、或は氣候が惡しくて、温度の劇變、雨天が續くと、凡てそういふ場合には胃腸の働きに影響を及ぼし消化に必要なる液の分泌が妨げられ、胃腸の動き振りが鈍つて來まして遂に下痢を惹起すやうになります、其他住所の不潔濕潤光線の射入不充分であるとか、身體の不潔體温調節の不完全例へば衣服を多く着せて厚衣をさし過ぎると汗が多量に出て其爲めに身體が濕潤せられますそれから小兒の取扱方の不完全である等凡て間接直接に下痢の源因になります、それから小兒の玩具に注意しなくてはなりませぬ、兎角そんな物は不潔になり易いもので、小供は何でも好んで口に入れたがるものであります、不潔な所に落ちた玩具抔をなめると往々腐敗したものを口中に入れる事になりますから殊に夏期は氣を附けなくてはなりませぬ。

果物には市井に賣つて居るものには腐敗に傾いた品が中々多くありますから、餘程吟味して掛らなければなりませぬ。

菓子類に至りても餡の入つて居る品は可成用ひないのが安全であります、御承知の通り餡といふものは腐敗し易い物でありますから夏期は危險であります。

又それから稍や生長した子供になると刺味を食はせますが此夏の刺味といふものは往々病氣の源になる事がありますからいけませぬ

そしから飲食器物の清潔法が不完全な爲めに下

痢の起る事もあります、それ故に人工營養――母の乳を飲まないで牛乳其他の營養品で養育せられて居る小兒は殊によく胃腸の障害を發するものであります、之れに反して母の乳で育てられてある小兒には胃腸の病を起す事は人工營養兒程多くありませぬ、けれ共母の精神に感動が烈しく起つたり、母に病のある時或は母が精神身體を過勞した場合又は食物の不足の時にも乳兒の胃腸に病氣を起します、それから早產兒とか貧血又は腺病質の小兒や佝僂病――佝僂病は是迄日本に無いと謂はれて居りましたけ共近頃富山縣下の多數にある事が發見せられました――に罹つて居る小兒抔はよく胃腸障碍を起すものであります。

以上ザット申上げたやうな譯で胃腸の障碍――嘔吐下痢を來すのでありますから――殊に夏期には餘程注意しなければなりませぬ。

それで胃腸の障碍を廢した場合の

小兒の狀態症狀

は如何であるかと申しますると哺乳兒であると先づ嘔吐を起しまして飲んだ乳は皆吐き出して了ひ顏の色が蒼白くなり、好んで乳を飲まなくなり多くは不機嫌で、不安の狀となり、啼き時としては搖搦を發し、それから大便の色が變つて綠色を帶び、臭氣を持つやうになり、顆粒と謂つて丸いツブツブが雜つて或は鼻汁のやうなドロ〳〵した粘液を混じて居ります、それから腸が平素よりも膨れて居る、時としては熱の出る事もあり、又は全く熱の出ない事もあります、一定して居りませぬ、甚しくなりますると呼吸の數が多くなり手足が冷くなつて來るやうな事があります。

それから場合に依りて、嘔吐を發せずして、下痢が甚しく、一日に五六回も下痢し、多くなると二十回位に上る事もあります、小便の量は其の爲め大變に少くなつて來ます、大便は後に、丸で水の如くになり、粘液が混して居つて、中に黃色な消化せられない塊を持つて居ります。

生長した小兒であると往々初めに三十九度から四十度の高熱を起し、不活潑で、元氣が無く夜分よく眠らず、怒り易くなり、舌は眞つ白くなり、口に惡臭があつて、矢張り時々嘔吐を催し下痢します。

それから極く性質の惡い下痢症になりますと嘔吐下痢が中々烈しく、暫時の間に體力が衰へて、大便は非常に惡臭を放ち水樣で顆粒と粘液を混じ飲めば忽ちに吐き、何を與へても更に受付けず而かも渴が甚しく、口中、口唇は全く乾燥し、精神は全く朦朧となり、頭を振り、體を動かして苦悶し夜分全く眠らず、それから高熱を發し、後には手足が冷くなつて顏面蒼白となり、口唇は紫色に變じ、呼吸が苦しくなつて來ます、眼を見るとボヤンリとして光輝が無くなり、そうして眼玉が落ち込んで來て、小便が尠くなり全く昏睡の狀況に陷つて了ひます。

それから口の中には鵞口瘡といつて白いツブツブの斑點を用じまして是れも後には一面に眞つ白くなつて來ます、下痢が烈しい爲めに肛門の周圍はたゞれて眞赤になりて來て遂に潰爛を起して來ます。

そこで甚だ複雜した述へ方になりましたが要するに小兒の下痢といふものは輕いのもあるけれ共ややもすると重症ものに轉じ易く、今日少しの下痢位であつたものが明日は急に樣子が變つて生命の危篤に頻するものが中々に多く殊に夏期には性質の惡い下痢症が流行する故に、小兒の下痢は大人のと餘程趣を異にして居て中々恐るべきものであるといふ事を申し上げたいのに過ぎないのであります。

然るに世の中には、小供の腹下りと言つて輕視し治療も受けず放置し、よし治療を受けても飲食物其他の攝生に注意をしないが爲めに往々俄に重症となり、手の附け樣のない狀態に陷らせるものが甚だ尠くないやうに見受けます、是れは誠に遺

慽千萬な次第であります。

豫防法

そこで胃腸の障碍を起させないやうに愛兒を保護するには常に先づ第一に飲食物に注意し哺乳兒であるときは、母の精神感動身體の過勞其他の疾病ある時は先づ是れを治療する事を怠つてはなりませぬ、それから殊に夏期には乳房を清潔に保つ事を勉め、哺乳の前后に廿倍の硼酸水で乳房を叮寧に拭ひそれから小兒の口中をも注意して飲んだ後によく拭いてやるやうにし、牛乳を用ふる塲合には牛乳の消毒は固よりの事、之を容れる器具をよく消毒し、清潔に保ち、哺乳の時間を可成一定し、妄に多量に與ぬやうに注意しなければなりませぬ、乳は飲まさなくてはイカヌといふので無暗に多量に飲ませ其爲めに胃腸障害を發するのが中々多く見受けられますが是れは大なる誤りであります、一體胃の中には食物消化の役を營む胃液といふものがありまして其効能は一は消化の働きをなし一は乳汁の腐敗するのを防ぐ作用のあるものであります、そこで今適當の分量の乳が一定の時間に限つて胃に入つて來れば此二つの働きは完全に行はれる筈であるのが、此規則を破つて多量の乳が不規則に入つて來ると乳の腐敗を防ぐ作用のあるものが費消せられ、充分なる消化を受けざるものが腸の中へ送られるから又此所でも吸收消化が不完全になり、容易に腐敗して下痢を惹き起すに至るのであります。

それから常に襁褓の取換に注意し、決して濕つたものを永く放置しないやうにし、殊に夏は汗が出て、爛れを來し易いものでありますから常に清潔にする事を勉め、妄に厚衣をさせて多量に汗の出るやうな事を避けなくてはなりませぬ、凡て老人は小兒に厚衣をさせたがる、癖のある者でありますが是れは甚だイカヌ事であります。

それから寢冷えをさせないやうに氣を配り、常に寢る時に腹卷をしてやるのが宜しいです。

夏は度々湯に入れて、叮寧に身を拭ひ、清潔な衣服を衣せて置き、凡ての取扱法に注意しなくてはなりませぬ其の外玩具に注意し、不潔な物は捨てゝ了ふのであります、それから室内の清潔、光線の能く射入するやうにし、飲用水に注意するのが肝要であります。

菓子類菓物等に至つては餘程注意して吟味したものの外妄に與へてはなりませぬ、氷水の如きは中々危險でありますから可成與へないやうに習慣を作らなければなりませぬ。

小兒の腸下りと謂つて輕く見て何にもせずに放置して置く人がありますが、是れが大なる誤まりであつて小兒の下痢は殊に夏は實に恐るべきものでありまして、初めこそ輕いけれ共急速に危險の狀態に陷つて如何に手を盡しても其甲斐がなく遂に生命を奪はれるやうな事に立ち到るのは實に吾々の多く見受ける所であります、それ故に少しでも下痢があるとか乳を飲まぬとか、吐嘔があるとかいふ場合にも胃腸の障害が起つて居るのであるから直に醫師の診を求めなくてはならぬ、大人では少しの下痢位は攝生の如何に依つては、左程重くならぬ事もありますけれ共小兒では中々そうは行かぬ、趣が餘程ちがつて居りまして一日の中に極めて驚くべき狀況に陷り易いものでありますからして餘程眞面目に考へなくてはなりませぬ。

以上私の申し上げました主旨は小兒の下痢といふものは實に恐るべきものであるから殊に夏期には平素から小兒の全般の看護に注意しもし不幸にして病氣に罹つたら直に手當を施さなければならぬといふに過ぎないのであります。（婦人衛生雜誌）

▲女より男の化粧時間が長い　西洋では近來女が化粧するよりは男の方が多く化粧をする女は束髪の上へ帽子を戴きさへすれば何處の席へ出ても帽子を脱らないで濟むが男の方は外に出る時は髪を丁寧に櫛り毎日髭を剃り洋服の下着の如きも毎日取替ると云ふ有樣で男が鏡の前に立つて居る時間は確かに女が鏡に向ふて居る時間よりは永くかかつて居る（歐洲新歸朝者山林局經理課長内藤確介氏の談話）